

PHD

PEACE, HEALTH & HUMAN DEVELOPMENT

LETTER

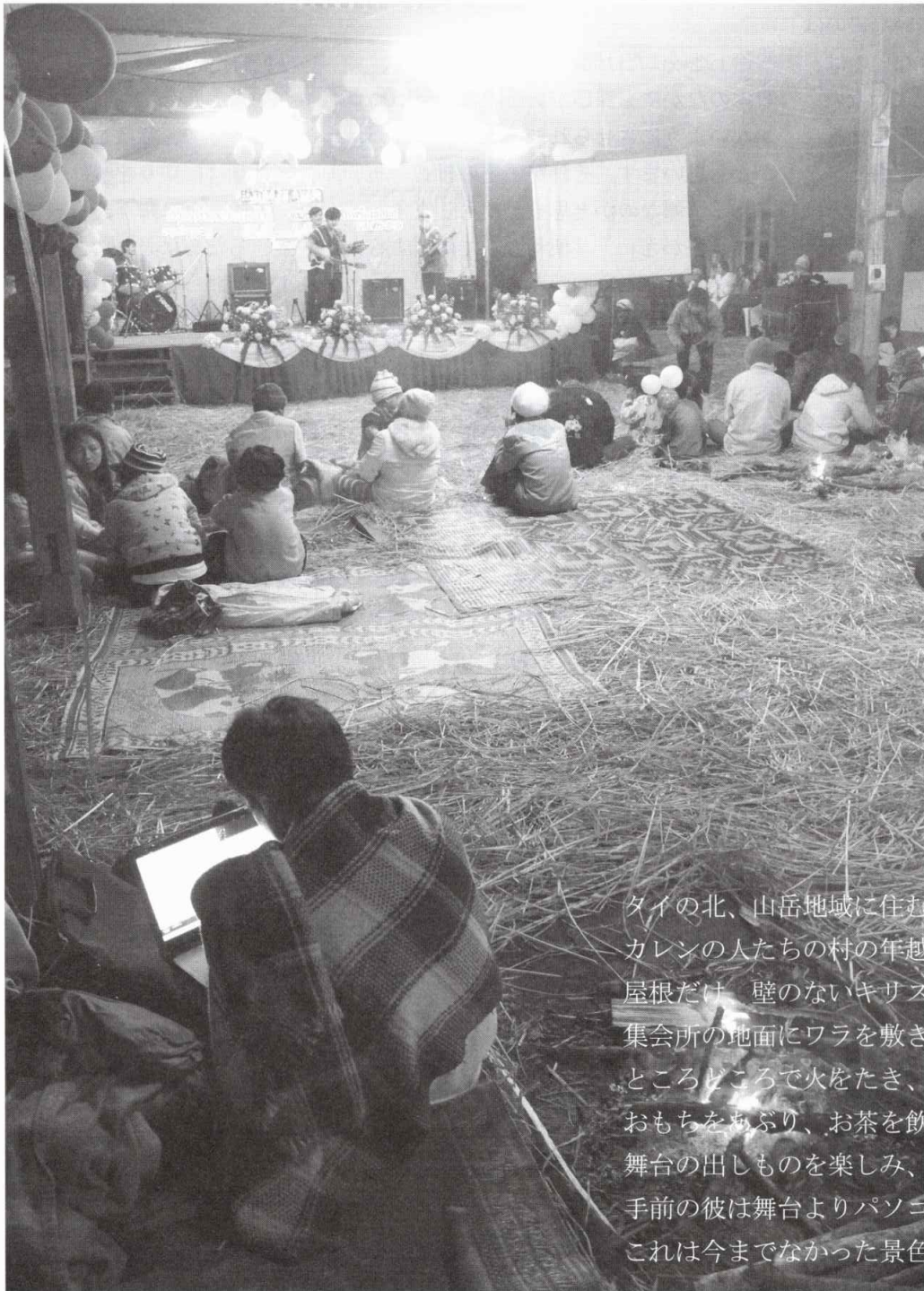
119

2012.3

- タイ・スタディツアー報告
- 29期研修生レポート「帰国後の計画」
- 国内研修生、1年をふりかえって

PHD運動とは1962年よりネパール、東南アジアを中心に医療活動に従事した岩村昇医師の提唱による国際社会福祉運動です。これまで自分のためだけに使っていた時間、技能、財などの10パーセントをささげて、平和 (Peace) と健康 (Health) を担う人づくり (Human Development) をすすめ、共に生きる社会をめざし、1981年からはじまりました。

発行：公益財団法人PHD協会 理事長 今井 鎮雄
編集人：藤野 達也
住所：〒650-0022 神戸市中央区元町通5-4-3
元町アーバンライフ202
TEL 078-351-4892 FAX 078-351-4867
E-mail: info@phd-kobe.org
URL: http://www.phd-kob.org
定価：100円
郵便振替口座：財団法人ピー・エイチ・ディー協会
01110-6-29688



タイの北、山岳地域に住む
カレンの人たちの村の年越しの集り。
屋根だけ、壁のないキリスト教会の
集会所の地面にワラを敷き、
ところどころで火をたき、あたたかく。
おもちゃをめぐり、お茶を飲みながら
舞台の出しものを楽しみ、新年を迎える。
手前の彼は舞台よりパソコンを。
これは今までなかった景色。

東西南北
問題解決
取組日記

すごいこと

各地でお話の機会をいただくと、最近
はこんなお話をします。「PHDは生活の
上での問題を抱えた地域に物、金を与え
てその場をしのぐことを目的とした活動
ではない。問題を地域の人々自身の取り
組みによって解決することが望ましいと
考える。しかし、そうなっていないのは
なぜか。その状況を克服できないのは、
村人の能力がないとか低いからではない。
いままで気がつかなかったことを知る、
別の見方や方法に出会う機会、場が、
村には少ないからだ。気がつけばあとは
自分たちでできることがたくさんある。
いままでとは違った気づきのための機会
を日本から提供しようというのが、PHD
の研修なのだ」と。

その上で研修生を日本に迎えて研修を
すすめてみたら、そこには彼らへのお手
本になることばかりではなく、豊かにみ
えたところが、課題、問題を抱えたところ
であることに触れます。それは一見劣
っているようにみえた研修生の村のすば
らしさに気づくことになることを説明し
ます。

「モノや便利さは多くはないかもしれ
ない。けれど、生きていくために必要な
基本的なものは、自分たちで得ている強
さがある。食べ物を自前で作り、水、燃
料は自然から。

多くの消費はしないからゴミは少ない。
たくさん歩くから、からだ全体を使うか
ら、運動不足はない。よそへ運ぶ、よそ
から持ってくるものも少ないから、燃料



鶏も生かして売れば、食べる前まで腐らない。
ということで冷蔵庫はいらない。

も少なく、CO2の排出量も少ない。電気
の消費も少ないから、原子力発電所はい
らない。着るものを自分たちで織ってい
るところだってある。そんなこんなでお
金はたくさんはいらない。がつつ稼が
なくていいから、ゆっくり、ゆったりで
きる。地域がつながっているから、孤立
する人は少なく、子どもも、お年寄りも
いっしょだ」。なんだ、こいつはすごい
じゃないかと話します。

違う視点で

途上地域にだけ問題があるのではなく、
日本のなかにも課題があるのに、気がつ
かないようにさせられているのではない
かとも思います。それがいまの教育、あ
ふれる情報なのかと思ったりもします。
その「豊かさ」、「便利さ」で何をする
のか、次はどこに向かうのか。

その「豊かさ」、「便利さ」は、何に
よって、誰によって成り立っているのか。
いままでと同じ方向性を良しとする価値
観は、絶対的なものではないように思ひ
ます。本当に私たちがそれを求めている
のでしょうか。いままでとは違う別の見
方、考え方で世の中に向き合うことが必
要なのではないでしょうか。

気づきの場、PHD

アジア・南太平洋の村の研修生が、そ
の村の自然や人々が、PHDの活動を支え
てくださる日本各地のみなさんが、そん
な私の視点を育ててくださいました。も
ちろん、その土台にはPHDの提唱者、岩
村先生のネパールでの経験に基づくPHD
の思想があります。はじめは言葉として
しかとらえられなかったことが、実際に
研修生を迎え、各地のみなさんに引き受
けをお願いし、村に返し、その後の活動
をみていくなから、少しずつ形として
見えてきました。

岩村先生の呼びかけは、「分かち合う」
ということ、生活のなかで実践しよう
というものです。その先に「共に生きる
社会」があります。

研修生を支えることだけがPHDではあ
りません。もちろん彼らの村の生活をよ

くするために支援をすることも大事なこ
とですが、本当の狙いはその先にありま
す。研修を通じた交流は、互いの気づき
の場です。気づいたら、次は行動です。
研修生だけががんばればいいのではあり
ません。そう人に言うのなら、もっと自
分の行動に表わさないと、と思います。
PHDを通して学ぶことを仕事として表わ
せるPHD協会の職員としての立場に居座
らず、次の世代に託し、私は違う形で学
びを活かしたほうがいいのではと思うよ
うになりました。

感謝です

そんなわけで、私はこの春で、職員と
しての役割に区切りをつけることにしま
した。先のことはまだ決まっていません
が、生きるために必要なこと、ものを、
いままで備わっているのに使ってこなか
ったからだや自然の力をもっと活かして、
手にする口にする質素で素敵な暮らしに
少しでも近づこうと思います。

PHDは気づきを用意することを事業と
する活動です。気づきの内容、方向は誰
かが決めてしまうものではありません。
それぞれに託されています。海外研修生、
国内研修生だけでなく、活動に連なるみ
なさん、そこで働く職員も対象です。

1981年秋から、国内外でご支援、ご指
導、お世話いただいたすべてのみなさん、
共に仕事にあたってきた職員のみなさん、
今井理事長をはじめとする理事、監事、
評議員、運営協力委員の方々、海外研修
生、国内研修生のみなさん、そして天国
（おふたりともキリスト教徒だから）に
おられる岩村先生、草地さん、ここまで
本当にありがとうございました。そして
新しい体制となるPHD協会へのこれまで
にも増してのご支援をお願いいたします。
私はこれからは一活動参加者として、
PHDにつながっていきます。

総主事代行 藤野達也



きれいな布の
裏にある苦勞

国内研修生としてタイのスタディ
ーツアーに参加しました。ツアーの
目的は元研修生たちの様子を知るこ
と、村の生活から学ぶこと、そして
PHDで行っているフェアトレードの布
の買い付けです。私はツアーに行く
までも研修生が帰った村のお母さん
達が織った布を、日本で売ること
を担当していました。手織りの布で
あるということを説明しながら売っ
ていましたが、それどれほど大変な
ものかも知らずに、ただただ売って
いただけでした。しかし実際、お母
さん達が織っているのを見て、すぐ
時間がかかるものだという身を
にしみて感じたとともに、布はお
母さん達の気持ちのこもった物だと

いうことを実感しました。お母さん
達は昼間家事や農業をこなし、布を
織り始めます。夜遅くまでずっと。
忙しい生活の中で、それほどたくさ
んの現金収入にならないにもかかわらず、
私たちのために、どのような
ものなら喜んでもらえるのかとい
うことを考え、試行錯誤しながら、作
っていました。お母さん達の努力が
あり、ムシキーとメーサリアンの二
つの村で共に、毎年工夫された違っ
た製品ができています。しかし、村
の子ども達が布を織ることをしなく
なっているという残念な現状あり
ます。伝統を受け継ぐはずの子ども



風の通りなるような上糸かけを
教えてもらいました



織りの難しさを体験しました

達の多くが、村から出て行ってしま
い、特にメーサリアンではそのこと
が本当に深刻な問題となっています。
私は、これから村が「発展」してい
き、このすばらしい伝統が消えてし
まうと思うと本当に悲しく思います。
多くの手仕事を失ってしまった日本
に住みながら、彼らにそれを求める
のは身勝手と知りつつも、「発展」
することで無くなっていく物はたく
さんあると感じました。私は、今回
のツアーで体験し感じたことを伝え
ていきたいです。布のことや村の抱
えている問題を少しでも多くの方に
考えほしいと思います。

(岸本侑子・国内研修生)

タイ・スタディツアー報告

2011年12月23日～2012年1月2日

私がホームステイしたムシキー村の
お家は、子どもたちに、長女は食材を
切る、次女は皿洗いなど、年齢に合っ
た手伝いをさせていました。水汲みも
ブディ、テイクリーの仕事。親が頼む
までもなく、自分たちの役割として責
任を持ってやっているように見えました。
もちろん、手伝いを頼まれたら、
嫌な顔せずやっていて、手伝うことが
少なくなった日本の子どもたちとつい
比較。子供が大事なら、親の庇護のも
と甘やかして育てるよりも、生活場
面で「役立っている」ことを体で感じる



別れの朝、ホームステイ先の家族と

ことが大切なのだ。生きる力を育む
営みとして、多くの日本人親子に見せ
たい光景でした。

相手の家庭のことを知り、自分の家
族のことも伝えることで仲良くなれ、
交流が成り立つのだということも身
を持って感じました。

「人は思いやると、その思いはお互
いに通じる」ことがとてもうれしく、
目頭が熱くなった瞬間でした。ボラン
ティアでも、寄付のように上から与
えるのではなく、自然に生かされ、人
の温かさに触れ、ともに生きているこ
とを確認する旅となりました。

(窪田勤美・会社員)

メーサリアンに着いてすぐプリチャ
ーさんに会えた。26年前に二日間だけ
のお世話だったのに、覚えていてくれ
て感激した。当時、彼の村には電気も
井戸もなかった。その後に世話したブ
ラチャックさんは、家の周辺の普通
の道をハイウェイですかと聞いてきた。

そんなことから想像していた村の様
子は驚きの連続だった。オートバイ、

自動車がどんどん走っている。子供た
ちはゲーム機で遊んでいる。表面上は
日本と変わらないように見える。

しかし、村での生活がはじまると伝
統文化は残っていた。高床式の家の床
は竹を割ってしいてあり、囲炉裏があ
った。そこでごはんを炊き、おかずを
作る。暖かく、子供のころ囲炉裏端で
母が食事の支度をしていたことが思い
出されて懐かしかった。

(真柴朝子・農業研修指導者)



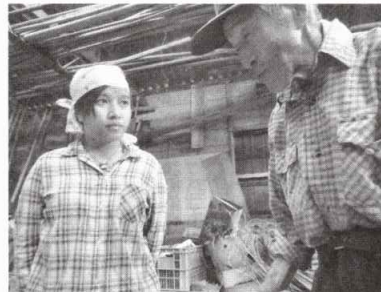
真柴さんからのアドバイスをきく
ブラチャックさん(98年度)

29期生研修生レポート

【研修・滞在先敬称略】

1年間、たくさん勉強しました。私たちの帰国後の計画です。

パッサンさん (ネパール)



愛媛の泉精一さんから自然農業を学ぶ
(愛媛県松山市)

10月～3月の研修

12/12～16 山香園・河南英幸
(きのこ/兵庫県三田市)



しいたけの原木を運ぶパッサンさん
(兵庫県三田市)

私は村に帰るとレオトリンの
おぼろとたいむとどちくせ
いほうをはたけにつかして
戸籍なぐだものやさいを
つくりたい。でもこれからトアムの
おきめをとたらのおたぎに
えいようがはいった戸籍になる
ことやどちくせいほうを
はたけにつかたらつちが戸籍
になることをさいしよにふん
がやいまいけんたにおしえあげ
たい。でもおしよきやさんがうけた
くみあいでもこのことをしたい
でもパッサンネパール

エリザさん (インドネシア)



離乳食を調理しました (兵庫県三木市)

10月～3月の研修

10/25 修光学園
(お菓子作り・障害者福祉/京都市)
11/4～6
三上千枝子(お菓子作り/兵庫県高砂市)
11/29、2/18
兵庫県立大学・森口育子
(保健衛生/兵庫県明石市)
12/4～5
井上妙子・倫子(洋裁/大阪府高石市)
12/13～16、2/25～26
高木育代(洋裁/神戸市)
3/2
トルハースト直子(洋裁/神戸市)

来年は10月まで1ヶ月だけ
をバリエーションしました。これを
はみぎをちかむように
お家でいただきます。うがいをも
する。おさいをたべてかなさ
えいようのバランスをよくして
たべさせるようにします。うい
あることがだいじです。来年は
ツバネツツにがたさいさいは
まのハルハルせいのアル
かスラバさんなどとおきの
ひとたちにおつてそのお
グループついでおきのひと
おしえてあげます。エリザ。ツバネ

ラメシュさん (ネパール)



鶏の病気予防のお話を聞きました
(兵庫県姫路市)

10月～3月の研修

12/12～17
ステップハウス(障害者福祉/高砂市)
12/21～25
篠山ナマステ(養鶏/兵庫県篠山市)
2/13
姫路家畜保健衛生所(養鶏/姫路市)
2/26
増岡祐介(養鶏/篠山市)



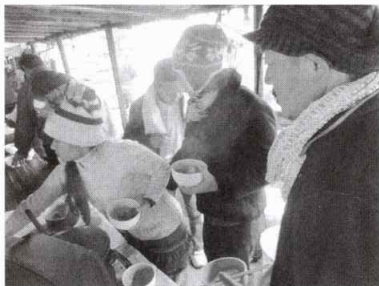
波多野さんと一緒に作業
(神戸市西区)

日本でくすりやつかかた
おれのつくりかたといふおの
むらうきについでバリエーション
しよんのはたけでつくる
これ、こまき、こまきかと
おすはつこらおせえ
つくとあんまりむらうきに
ないません。このことを30
まえのけんせいのハルハル
おんにはたしてのきよする
ひとといふおのりつたて
おしえておしえてです。
ラメシュ
ネパール
アミール
カリー
ネパール

11月～3月の共通研修

11/30～12/1
水野直司税理士事務所(組合理計研修/大阪市)
12/8,9
なでしこ歯科(口腔衛生研修/神戸市)
10/24,11/25,12/2
コープこうべ(協同組合研修/兵庫県三木市)
12/6
食品公害を追究し安全な食べ物を求める会
(住民組織化研修/宝塚市)
12/9～10
旅路の里(釜ヶ崎の歴史や現状/大阪市)

12/21
人と防災未来センター・中林清
(防災研修/神戸市)
1/30～2/1
淡路島モンキーセンター
(残留農薬の弊害について/
兵庫県洲本市)
山口勝弘(果樹/南あわじ市)
2/3
兵庫県有機農業研究会
(有機JAS認定について/神戸市)
2/6
三木市総合福祉保健センター
(離乳食/神戸市)
2/15
但馬農業高校(接木研修/養父市)
2/14,19,28
研修報告(リーダーシップ研修/篠山市、
加東市、養父市、高砂市)
2/17,27,29,3/1
PHD協会(住民組織化研修/神戸市)
2/24
千苺浄水場(水道事業/神戸市)
3/10
帰国報告会



釜ヶ崎研修では、農業研修指導者の寺田さんも
参加しました



帰国後、村の健康を守る
ためヘルスワーカーの学
校に通うミンクマリさん

活動支援金のご協力をお願いします！

”帰ってからが本番！”の研修生の帰国後を応援してもらえませんか？

合計10万円を支援してきました。

◆活動支援金の成果

5万円がどのような金額かと言いますと、インドネシアでは足踏みのミシンとロックミシンが買えるぐらい。布や他の道具は買うことはできません。ネパールでは助産師の学費の約50%。どちらにせよ元手でしかなく、すべてを賄うことはできないので、残りの費用に関しては自分たちで集める必要があります。しかし、その元手により洋裁が軌道にのり、村の小学校からも注文が来るようになってきたり、保育園に健康や栄養の本を購入して知識の普及を図ったり、鶏や牛を購入し有機農業をはじめ地域に広めていくなどの成果が生まれています。

◆ご協力をお願いします

これまでは、皆さんからの会費やご寄附の一部を活動資金に使わせていただきました。今後も活動支援金を続けていきたいのですが、ここ数年当会の財政状況が厳しくなっていることもあり、この帰国後

の支援の存在をあらためてご説明し、ご支援をお願いします。

パッサンさん、ラメシュさん、エリザさんの帰国後も応援しよう、と思っただきる方はぜひご協力お願いします。ご支援下さった方には活動支援金の申請及び結果についてのレポートを現地調査後にお送りします。
(担当/坂西卓郎)

活動支援金 目標額
一口5,000円×60口＝300,000円

※お手数ですが、同封の郵便振込用紙に「活動支援金」とご記入をお願いします。

※もしも上記を上回った場合は過去の研修生への未払い活動支援金に充てさせていただきます。2010年度のミンクマリ、ウルミラ、インドラ分もこれからとなっています。
※ご支援いただいた方々のお名前はリストにして研修生に手渡します。

15期 国内研修生、1年をふりかえって



PHDを通して学んだこと

吉田宜子さん

大学卒業から約20年、生活協同組合コープこうべで勤務しました。2010年、勤務先を通じてのPHD協会のスタディツアー募集に手をあげ、ネパール、PHD協会に出会いました。海外研修生のコープこうべ研修にも参加し、海外だけでなく、日本の問題も考えるPHD協会や国際協力、交流についてもっと知りたいと思い、一年間休職して国内研修生になりました。

海外研修生と過ごした一年間は本当にかげがえのない時間になりました。初めての農業研修はパッサンさんに助けてもらいながら、とても充実した研修になりました。生まれてから一度

も自分で食べるものを作った事がないという私のコンプレックスを、少し解消できたかも？釜ヶ崎研修、西日本研修旅行では、水俣病、ハンセン病、産業廃棄物など情報としては知っていましたが、実際にそこでしかわからないことを勉強し、日本についてまだまだ勉強しなければと思いました。

PHD協会の活動は、単に、国際協力にとどまらず、日本や海外のことだけでなく自分について考えるきっかけを与えてくれました。物にあふれ毎日の生活は消費することばかりの中で、生きるために本当に必要な事は何か、本当の意味での国際協力となにか、豊さとはなにかを学びました。

研修終了後は、生活協同組合コープこうべに復職します。一人でも多くの人達にこの一年間で勉強したことを伝え、本当の意味での豊かさや、共に生きることをわかちあいたいと思います。最後になりましたが、一年間研修指導者、ボランティア、シルバーカレッジ、多くの皆様に、大変お世話になりました。ありがとうございました。



岸本侑子さん

私は大学で4年間国際協力について勉強してきました。その4年間の集大成として、またより身近に国際協力を感じたい、学びたいと思い、国内研修生に応募しました。国内研修を始めたのは5月からでした。5月には海外からの研修生もまだYMCAで日本語の



勉強をしている段階で、会話もあまり続かず、1年間で仲良くできるのか本当に不安でした。しかし、研修に同行していく中で本当に仲良くなることができました。研修生だけでなく、PHDを支援してくださっている全国の方々、事務所に来てくださるボランティアの方々、PHDがこれまで招聘した海外の元研修生たちとの濃い出会いとつながりを持つ事ができ、そしてそのことがどれほど大切であるかということ学ぶことができました。また、研修を通して、PHD協会からの研修生や研修生の村に対しての支援は、多くの皆さんからの支援がなければできないということ、海外の研修生からは、

私達の普通の生活がいかに便利で、不必要なモノにあふれているかということや改めて教えてもらい、自分の生活について考えさせられました。私は学校と国内研修の両立だったために、あまり研修に同行できなかったのが本当はもっともっと学ぶことがあったのに残念でした。しかし、限られた日数の中でも学んだことは大きく、私にとってとても貴重な学びの場になりました。私はこれから保育者になります。今後の国内のことや世界のことを担っていく子どもたちに国内研修で学んだことを伝えていくと同時に、私自身今後も国際協力に関わっていきたいと思っています。

東日本研修旅行/西日本研修旅行 報告

東日本研修旅行 (2011年11月11日~20日)

- 愛知県 トヨタ自動車労働組合
アーユス仏教国際ネットワーク東海・相念寺
- 岐阜県 日本基督教団 中濃教会
ソロブチミストかかみ野
- 静岡県 東海大学
- 神奈川県 山崎・谷戸の会
もみの木クラブ
- 東京都 ロータリー米山記念奨学会
日本労働組合総連合会
全日本自動車産業労働組合総連合会
生協総合研究所
アーユス仏教国際協力ネットワーク
恵泉女学園大学
- 宮城県 仙台YMCA
山元町社会福祉協議会
災害ボランティアセンター
- 山梨県 山梨英和中学校・高校
山梨YMCA
- 長野県 日本キリスト教団松本教会



もみの木クラブ交流会では、民族衣装を試着してもらいました



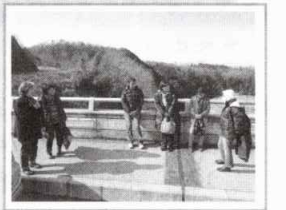
宮城県を訪れ、被災したいちご畑のお手伝いをしました

西日本研修旅行 (2012年1月12日~24日)

- 鹿児島県 かごしま有機生産組合
だるま保育園
- 熊本県 水俣病センター相神社
熊本YMCA
菊池恵楓園
- 福岡県 祝町小学校~旭ヶ丘会館交流会
- 山口県 梅光学院大学・梅光女学院高等学校、
梅光幼稚園、岩国ワイズメンズクラブ
- 広島県 平和学習
灰塚コミュニティセンター交流会
共生庵
三和小学校
灰塚小学校
- 岡山県 岡山市交流会
岡山YMCA
御津教会
瀬戸内環境会議



鹿児島の地球畑でカレンの布の販売をしました



今井純子さん、渡辺なおみさんに灰塚ダムを案内してもらいました

南山大学短期大学部からのインターン

加納由佳さんを迎えました!



◆インターンを終えて

私は1月31日から2月10日までの11日間、PHD協会でインターンをさせて頂きました。インターン期間中は研修生の方の活動に多く同行させて頂きました。



淡路島モンキーセンター研修同行

なかでも一番記憶に残っているのは始めて同行させて頂いた淡路島研修です。淡路島ではモンキーセンターに行ったのですが歩き方がおかしかったり、指が欠損している奇形ザルが多くおり、衝撃を受けました。奇形ザルが生まれるのには、海外から輸入された食品に農薬が残留していることと関係があるらしいのですが、サルが食べている物は人が口にして同じだと聞いて恐ろしくなりました。今まで食に関して無頓着だったのですがこの研修を機に考えるようになりました。

11日間という短い間でしたが本当に多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。(加納由佳)



シルバーカレッジの皆さんとの作業 ワン・ワールド・フェスティバル参加



- 11月2日 神原公民館
- 11月6日 三木かなもの祭りバザー
- 11月27日 コープボランティア報告会バザー
- 11月28日 明石城西高等学校
- 12月3日 関西学院大学教育学部
- 12月3日 神戸学生青年センター日本語サロン交流会
- 12月8日 芦屋大学
- 12月14日 神戸NGO協議会
- 12月21日 龍谷大学
- 12月18日 国際ソロブチミスト神戸クリスマス会
- 12月21日 近江兄弟社学園高等部
- 12月23日~1月2日 タイ・スタディツアー
- 1月11日 神戸市シルバーカレッジ国際友の会新年会
- 1月17日 コープ三木緑が丘レインボースクール
- 1月25日 兵庫県立国際高校
- 1月24日 コープサポート活動センター姫路交流会
- 1月29日 ダイハツ夢創塾
- 1月31日 南あわじ市立灘小学校交流会
- 2月2日 高砂市立阿弥陀小学校交流会
- 2月4日、5日 ワンワールドフェスティバル
- 2月8日 神戸市シルバーカレッジ国際友の会交流会
- 2月14日 但馬PHD交流会
- 2月15日 但馬農業高校交流会
- 2月19日 加東市連合婦人会研修報告会
- 2月18,19日 スタディツアー研究会セミナー
- 2月23日 国際ソロブチミスト姫路西バザー
- 2月23日 兵庫県立大看護学部
- 2月24日 「地球の未来に、いっしょかみ。」キャンペーン
トークイベント「水からつながる日本とアジア」
- 2月25日 国内研修生募集説明会
- 2月29日 研修指導者会

第30期研修生 4月12日に来日予定です ホストファミリーを募集しています！



アッチャンマ・ラマ
ネパール・17歳・男性
農業、協同組合、
地域組織化



ランマヤ・タマン
ネパール・19歳・女性
保健衛生、農業、
地域組織化



アドリザル
インドネシア・35歳・男性
農業、地域組織化

〇月×日のPHD協会

—愛を感じたとき

研修生 エリザ まだ日本語が十分わからないころの保健衛生研修時、インドネシア語がわかるNさんに復習を手伝ってもらい、理解。そこに愛。

研修生 パッサン 昨年5月の連休。ホームシックでシクシク。滞在家庭のお父さんお母さんに外に連れだしてもらい、気分転換、救われる。そこに愛。

職員 川原 新婚一年。当初は家事の8割は私だったけれど、ここ最近、帰りの早い日はお連れ合いが夕食を担当。うれしい、おいしい。そこに愛。

職員 井上 電話をとると、今も切手やカード集めてますかとの問い合わせ。特別な呼びかけはなくても、じわっと広がるPHDへの支援の輪。そこに愛。

国内研修生 吉田 流感で寝込む。研修生の村の生活を知る中で、便利なモノの必要に？だったけれど、Fブックに研修生女子からのお見舞い。そこに愛。

職員 坂西 毎晩遅い帰りに、体調を気づかうお連れ合いが、青汁の粉末を用意。溶いて飲む手間が摂取の妨げとみるや、次はその錠剤を。そこに愛。

研修生 ラメシュ 7月の農業研修のとき、そこのお家の子どもたちとごはん、お手伝い、お風呂といつも一緒。ネパールの家族という気分。そこに愛。

国内研修生 岸本 標高千メートル、冬の北タイカレンの村に3連泊。言葉の通じない中、そこのお母さんが水浴びにお湯を用意してくれ、そこに愛。

職員 藤野 この〇月×日を担当して幾年月。PHDの周辺を本編とは別角度で4行の中に押し込み、連載81回。一番最後の場所で締めくくり。底に愛。

(着ている服が多い順)

—再生紙を使用しています。

PHD NEWS

◆会費・ご寄附寄託状況

2011年	10月	155件	¥4,525,868
	11月	104件	¥3,747,585
	12月	406件	¥2,889,832
2012年	1月	103件	¥1,473,100
		768件	¥12,636,835

上記の通り、通常のご寄附に加え、30周年記念のご寄附も頂きました。心より感謝申し上げます。

◆日本語復習ボランティア募集します

新研修生の日本語復習ボランティアを募集します。

時間：月曜-金曜は16時～18時、
土曜は午前中。

場所：PHD協会事務所

◆来日報告会のお知らせ

4月に来日する30期研修生の来日報告会を開催します。研修生の村の紹介、日本で何を学びたいかなどを報告します。ぜひ、ご参加ください。

日時：6月2日（土）14時～16時
場所：こうべまちづくり会館（予定）



昨年の夏からPHDの活動に参加して、半年程の時間が過ぎました。PHDの活動は、社会では勉強出来ない、人の繋がりや、温かさを肌で感じています。海外、国内研修生、職員の方々、縁の下の方たちである会員の方々の協力により支えられていることを実感しています。

先日職員の藤野さんからお聞きした話ですが、ネパールの研修生が村の人と力をあわせ

◆2012年度のスタディツアーご案内

研修生の村を訪ねるスタディツアー。今年の夏もネパール、インドネシアを訪問し、年末年始にはタイ、3月にも1つツアーを予定しています。日程、内容等はお問い合わせください。

ネパール 7月下旬
インドネシア 8月下旬
ビルマ 9月上旬
北タイ 12月末～2013年1月上旬
金額はいずれも約20万円

◆釜ヶ崎勉強会を予定しています

国内問題を考える勉強会として、2年ぶりに8月中旬頃、開催する予定です。詳しい日程、内容等は次号にてお知らせいたします。

◆運営協力委員会が開催されました

2011年11月の公益財団法人への移行により、新しい理事会、評議委員会の体制になりました。それに従い旧評議員の皆さんの役割を継続するために運営協力委員の名称で再編しました。2月21日第一回を開催し、これからの活動へのご意見をいただきました。

て水道を建設し、村の生活が便利になったとのお話を聞きました。PHDの活動はすぐに結果は出ませんが、草の根のように最初は小さく、後に台地に大きな根を張っていける活動だと思います。限られた時間の中で、活動に参加し研修生に、協力出来ているかわかりませんが、研修生が帰国後、小さな一歩を踏み出し、村の生活が少しでも豊かになるような、協力を今後もPHDの活動を通じて出来れば良いのかなと思います。

(電車男)